

乱文御免

学校だより



2021コロナに負けない
前を向こう！

出来ることを一生懸命



夢をつかむ

2021トライやるウィーク



11月17日(水)11月18日(木)の2日間で、6月に行われる予定だったトライやるウィークの代替えとしてBANBANテレビの小林賢人さん 関西医療株式会社代表取締役の安井剛さん 株式会社ビリーブ代表取締役 杉本健太さん 株式会社大浦ミート代表取締役 大浦達哉さん やね整骨医院グループ総院長 矢根和紀さんを招いて、会社を経営する立場から夢の話、生き方の話、経営者となるまでのお話などたくさんのお話を聞かせていただきました。

メッセージ

社長さんたちからの

「チャレンジすることが大切、自分でやろうと思って取り組むこと、仮にうまくいかなくてもそれは失敗ではありません。経験になって残ります。挑戦してください。」

「夢を叶えるのは 目標を具体的にする。いつまでに達成するか日時を決める」「目的を逆算して考える。そのことで今、何をすることがわかります。」

「夢を話す。周囲の人に達成することを口に出して話す。アウトプットが重要」

「大学に行かなくても社長にはなれる、会社経営は学歴ではない。でも私は今、時を逆算できるなら大学院まで行って学びます。(学ぶことは重要です。)」

「流れ星が流れる間に3回夢が言える。いつ、どのような時でも自分の夢や目標が言えるよう常に意識する。」

※他にもたくさんの参考になるお話をいただきました。

実際に仕事をして、体験することで学ぶと言うことが本来のトライやるウィークの目的ですが、今回のように実際、会社経営に携わっておられる地元の企業の社長さんに普段では聞けないような、色々な話を聞かせていただいたことは貴重な経験になったと思います。一言一言説得力のある講演会でした。

講演会を受けた2年生も積極的でした。「私も起業しようと思っています。」「この学校の先生になりたいです。」「プログラミングの会社を立ち上げます。」など、たくさんの仲間の前で、堂々と自分の夢を話せる生徒がたくさんいることに感動しました。社長さんたちもみんなの態度に感心しておられました。



第2回目の進路説明会ご参加ありがとうございました。

毎年2回の説明会を行っていますが、1回目は緊急事態宣言により、オンラインでの情報発信にて行いました。進路を決定する上において最も重要になるこの時期に、生徒、保護者、職員が一堂に集まる機会が持ててよかったと思っています。受験までの日々は不安で大変な毎日になると思いますが、

「自分の将来の夢」「やりたいこと」「なりたい自分」などを真剣に考えられる宝物のような時間です。納得いくまでたくさんの人と話し合っ、具体的に目標を設定して、今できることを全力で取り組んでください。15歳の春を笑顔で迎えるための準備期間もラストスパートです。

予想困難で変化の激しい社会を生き抜くために必要な力は「既存値」✕「考える力」と言われます。

「既存値」とは今、自分の持っている「学力や経験」です。それを基に人は考えます。中学校までの教育で身につけた知識と経験をさらに増やすことは重要なことです。「既存値」がたくさんあれば考え方に幅が広がります。「学び」は重要です。

